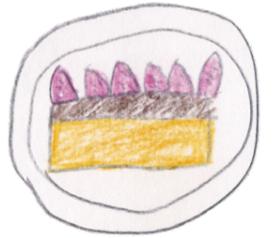




# 創樹 91

2024年7月20日発行



## ぷちええね

職員インタビュー

すてっぷ／向井 亜弥

### 福祉の仕事を選んだきっかけ

児童発達支援センターで実習した際、発達障害の子どもたちの中になかなか目線の合わない子がいたのですが、その子が好きなものを目にする事で目線が少しでも合うようになったという経験がとても嬉しく、この仕事に就くきっかけとなりました。

### 入ってからの指導体制

支援で分からないことについて質問がとてもしやすい環境です。たとえば、保護者さんからの相談に心えることができなかった時にも、いろいろと教えてもらえました。

### 仕事のやりがい

公園に行った際、「海賊が公園に宝物を隠した」という設定で、宝さがしをしました。子どもたちはその世界観を楽しんでくれ、「わあ〜!」「すごい!」と盛り上がり遊んでく

### 大切にしていること

挨拶と言葉遣いです。保護者さんとも関わるので、自分から挨拶をするよう心がけています。また子どもたちは、支援者が話した言葉をそのまま覚えて帰ることもあるので、丁寧な言葉で話をするように気を付けています。

### 休日の過ごし方

友達とカフェに行くことが好きで、たくさん話をしています。

### これから挑戦したいこと

子どもたちの「好き」を取り入れながら、楽しめる遊びの幅を広げていきたいと思っています。

全体行事  
8月11日 いのちの日の集い  
福山六方学園/  
あゆみ苑成人寮  
8月 夏祭り  
夜間退避訓練

### 今後の予定

2024年4月1日～2024年6月30日

\*お名前・グループ名のみ紹介し、お礼にかえさせていただきます。(敬称略・順不同)  
\*保護者・職員については記載していませんので、ご了承ください。

### ご寄贈・ボランティア訪問

○ご寄付 ・水呑町西自治会 ・関係者2名

### 実習生

○保育士	4月8日～10日間	穴吹国際みらい専門学校	2名
	6月4日～10日間	福山平成大学	1名
	6月14日～10日間	福山平成大学	1名

ありがとうございます  
ございました

## 言葉に頼らず、相手の気持ちを 受け取れる感性を大切に

「相談支援センター風ぐるま」では、すでに福祉サービスを利用されている方、これから利用してみたいと思われる方の思いや悩み、今の生活についてのことなど、お話を聞かせてもらうことが多くあります。そういったコミュニケーションの場面で意識していることに、研修で聞いたメラビアン<sup>1</sup>の法則があります。人と人がコミュニケーションを図る際、「言語情報7%」「聴覚情報38%」「視覚情報55%」という割合で相手に影響を与えていることを示した法則です。

これは、分かりづらい内容の話の時にどんなことが第一印象として相手に受け取られるかを示している、コミュニケーションにおいては言葉の意味よりも視覚や聴覚から得るイメージ・情報の方が大きなウエイトを占めているというものです。障がいのあるお子さんや成人の方の中にはコミュニケーションが苦手な自分の思っていることを上手く伝えられない、相手の感情を上手く読み取れないといった方も多くおられます。相手の感情理解が苦手な人は93%の部分で情報をキャッチしにくく、何かしらしんどさを感じられているし、その時の態度に注意を受けても「何の事だろう?」と分からなくなってしまうこともあるかもしれません。そのため、どんな

## あとかき

私事ですが、コロナ禍の経験を経て「行きたい所に行けるうちに行こう」「会いたい人に会えるうちに会おう」と、最近はささやかな願望を叶える日として休日を過ごしています。利用者の方にも同様に「自分の願いが叶う」経験と支援を届けたいです。(編集スタッフ一同)

■題字: 田中 盧雪 ■表紙: 坂本 強  
■誌面作品・文字: 内海 卓雄  
藤井 正彦、藤井 恵子



- 事業所一覧
- 福山六方学園(障害児入所施設)(短期入所)(日中一時支援)
  - あゆみ苑成人寮(障害者支援施設)(生活介護)(短期入所)(日中一時支援)
  - サポートセンターひびきの家(共同生活援助)
  - サポートセンター友の家(共同生活援助)
  - サポートセンターかなで(日中サービス支援型共同生活援助)(短期入所)
  - さわらび(生活介護)
  - ヘルパーステーションあしすと(居宅介護・行動援護)(移動支援)
  - ONE-すてっぷ(児童発達支援)(放課後等デイサービス)(日中一時支援)(障がい児療育等支援)
  - ふぁんたす(放課後等デイサービス)
  - 相談支援センター風ぐるま(一般相談支援)(特定相談支援)(障がい児相談支援)
  - さくら(就労継続支援B型)(生活介護)
  - 鞆の津ミュージアム(ギャラリー)

発行日: 2024年7月20日  
発行元: 社会福祉法人 創樹会 〒720-0832 広島県福山市水呑町7187番地1  
TEL:084-956-0255 FAX:084-956-5749  
swc@soujukai-fukuroku.or.jp https://soujukai-fukuroku.or.jp

相談支援センター 風ぐるま 管理者 藤井 祥普

# 令和5年度 各事業所の主な 事業報告

## サポートセンター ひびきの家

事業所全体での行事は控えましたが、ホームごとに季節の行事を行い、外出や帰省の制限を少しずつ無くしていきました。利用者さんの転倒・異食・自傷行為には常に緊張感を持って対応してきましたが、骨折の事例が複数発生しました。また、感染症対策も継続実施していましたが、数名の利用者さん・スタッフが新型コロナウイルスに罹患することがありました。

## さわらび

昨年5月に新型コロナウイルスの取り扱いが5類に移行しましたが、さわらびでは6月・8月・2月にクラスターとなり、大変ご迷惑をお掛けしました。療養と利用自粛も含めると大幅な利用減となり、事業収入的には大打撃となりましたが、幸い重症者が出ることはありませんでした。行事や外出等は感染対策に配慮しながら、可能な範囲で利用者さんが楽しめる形をとりました。

## ふぁんたす

一人ひとりに合わせた個別支援計画を作成し、集団・個別を交えた支援を行いました。子どもの姿を見てもらう機会を提供すると共に保護者同士の繋がりが持てるよう、新たに参観日を企画し実施しました。また、各家庭のニーズに応じて関係機関と連携を図り、継続した支援を行いました。

## 事務局

人材確保と定着支援を最重要課題として取り組みました。常勤職員と非常勤職員を合計19名採用し、「ユースエール」や「ふくやまワーク・ライフ・バランス」など若者雇用や職場環境整備における優良企業認定を取得。また、顧問会計士による会計業務支援を事業所管理者に拡大し、事業運営の参考と共有を図りました。

以上の活動を通して、引き続き「障がいのある人たちの人生を支える」を旨とした「嬉しいサービス」提供事業体として法人関係者が一丸となって精進していきます。

## あゆみ苑成人寮

入所施設において新型コロナウイルスは大変脅威ではありますが、感染症法上5類への引き下げとなったことを受け、少しずつですがコロナ禍前の生活に戻す取り組みを始めました。令和5年度の短期入所では、ご家族の入院などにより緊急かつ長期利用の方が大変多く居られ、調整に苦慮した一年でした。

## サポートセンター 友の家

令和5年度は、2名の利用者さんが利用終了となりました。1名は人生の最後を送り、1名は支援量の増加による施設移動のためとなっております。地域での生き方・暮らし方を選択する中、包括支援センターとの連携も増えるようになってきました。余暇活動支援としての「集い」も再開し、週末の過ごし方の選択肢の一つとなっております。

## ONE-すてっぷ

児童発達支援「すてっぷ」では、1歳児から年長児までの受け入れを行い、遊びや活動を通して人と一緒に過ごす楽しさや心地良さを重ねました。放課後等デイサービス「ONE-すてっぷ」では、休日や長期休暇における保護者の就労支援・レスパイト的側面も考慮しながらニーズに応じた受け入れを行い、安心して過ごせる場を提供しました。

## さくら

これまで2カ所で事業を行っていましたが、さくら新施設建設に向けた準備として、「さをりひろば 工房まち」を卸町に移転統合しました。また、令和5年度は公用車・利用者の事故が続き、ご利用される皆さんへ大変ご迷惑とご心配をかけました。安心・安全を提供できる施設づくりを目指し、改めて対応策を検討した一年でした。

## 福山六方学園

令和5年度末までに、4名が新たな場所での生活へ移行しました。特に、経過施設入所支援で在籍していた青年期の利用者が障害者支援施設へ移行できたことは、彼のこれからの人生にとってより良い環境を整えられたのではないかと思います。その他、短期入所・日中一時支援の受け入れを行い、家庭での生活が継続できるよう対応しました。

## サポートセンター かなで

日中をグループホームで過ごす利用者さんには、ホーム内外で活動を提供したり、生活介護事業所の体験利用に同行しました。余暇活動としては、ホーム内で季節ごとの行事を行ったり、個々の要望に応じて外出や買い物の支援をしました。また、消毒・換気などの感染症対策は継続実施しましたが、利用者・スタッフが新型コロナウイルスに罹患することがありました。

## ヘルパーステーション あしすと

感染症対策により、外出できる行き先に制限がありましたが、プール用マスクを着用しての水泳、混雑する時間帯を避けた外食や買い物など、思案を重ねながら外出範囲を広げてきました。また、利用者さんとそのご家族も年を重ね、体力的な不安や運転免許証の返納といった理由により、通院・散髪・選挙など望まれる支援内容にも変化がみられるようになりました。

## 相談支援センター 風ぐるま

令和5年度は、新型コロナウイルス感染症が5類になったこともあり、通常の訪問や面談、個別なケース会議や教育機関との連携会議も徐々に開催できるようになりました。また、福山市総合協議会相談部会の地域ブロック会も毎月1回の定期開催ができ、地域の相談事業所のみなさんとも情報交換や連携をもつことができました。

## NEWS



## 「ふくやまワーク・ライフ・バランス」認定事業所になりました

この制度は、男女が働きながら「仕事と家庭の両立」を実現するための支援へ積極的に取り組んでいる企業を福山市が認定する制度です。令和6年5月23日現在で、市内の129事業者が認定されており、創樹会も今年の3月に認定されました。今後も職員のみなさんが、仕事と家庭どちらも大切にできるよう、働きやすい職場環境づくりに取り組んでいきたいと思っております。

事務局 實政 友貴



生活協同組合ひろしま様が公募されていた「障がい者支援助成金」に採択され、さくらで使用する草刈り機購入のための費用をいただきました。皆様方の温かいご支援に、あらためて心より厚く御礼申し上げます。



福山六方学園家族会の皆様より、テント2張りを「ご寄贈いただきました。災害発生時やイベントの際に活用させていただきます。ありがとうございます。

ご支援 感謝申し上げます

寄贈

# 鞆の津ミュージアム



T O M O N O T S U M U S E U M

住所 | 〒720-0201 福山市鞆町鞆271-1  
開館時間 | 10:00-17:00(月火休館) 入場無料  
電話番号 | 084-970-5380  
Webサイト | <https://abtm.jp>

## イベントレポート

### 企画展『みんなのとうげい』開催

4月27日から6月30日にかけて、企画展『みんなのとうげい』を開催しました。本展は、とっておきの芸術祭 in ふくやまの一環として実施したワークショップ「SHOKKIの陶芸教室」から生まれたもの。館内には、セラミックレーベル〈SHOKKI〉さんによるファシリテーションのもと、47名の参加者が手びねりでつくりだした合計約350点におよぶ様々な色とかたちの陶器が集まりました。閉幕後、展示品は参加者の皆さんのお手元にお届けしましたので、今頃は食卓などで活躍中！ かもしれません。



## イベントレポート

### 第30回『陽と風と...』展 開催

7月9日から7月15日にかけて、『陽と風と...』展がふくやま美術館にて開催されました。とっておきの芸術祭 in ふくやま主催の本展も今回で30回目！ この30年間で、障がいのある人々による表現活動をめぐる環境は大きく変化し、多様なひろがりを見せています。そして今年は、藤井正彦さんと藤井恵子さん兄妹を招待作家に迎え、小さな虫や草花を描いたイラスト、紙テープ素材とした色とりどりな「謎」の袋を中心に展示させていただきました。



# 令和5年度

# 決算報告

## 法人単位 貸借対照表

令和6年3月31日現在

第三号第一様式

(単位:千円)

科 目	資 産 の 部		
	当年度末	前年度末	増 減
流動資産	658,600	617,913	40,687
現金預金	459,173	408,829	50,344
事業未収金	195,260	204,215	-8,955
未収補助金	1,557	1,781	-224
立替金	114	194	-80
前払費用	2,907	3,316	-409
徴収不能引当金	-411	-422	12
固定資産	1,415,604	1,402,681	12,923
基本財産	843,356	872,420	-29,064
土地	261,340	261,340	0
建物	582,015	611,080	-29,064
その他の固定資産	572,248	530,260	41,988
建物	122,143	123,735	-1,592
構築物	3,100	3,684	-584
機械及び装置	5,408	5,484	-76
車輛運搬具	6,848	5,534	1,314
器具及び備品	13,378	11,217	2,161
有形リース資産	2,692	3,929	-1,237
権利	1,119	1,264	-145
ソフトウェア	5,659	4,784	875
退職給付引当資産	51,183	51,067	116
修繕費積立資産	51,014	47,568	3,446
備品等購入積立資産	22,025	19,035	2,990
施設整備積立資産	284,003	248,136	35,867
設備整備等積立資産	100	100	0
工賃変動積立資産	1,300	1,300	0
差入保証金	1,775	1,755	20
長期前払費用	487	1,655	-1,167
その他の固定資産	14	14	0
資産の部合計	2,074,204	2,020,593	53,610

科 目	負 債 の 部		
	当年度末	前年度末	増 減
流動負債	177,973	173,442	4,532
事業未払金	79,244	74,170	5,073
その他の未払金	662	365	298
1年以内返済予定設備資金借入金	23,944	23,944	0
1年以内返済予定リース債務	1,017	1,017	0
預り金	41	27	14
職員預り金	18,958	10,782	8,176
仮受金	98	0	98
賞与引当金	54,010	63,136	-9,126
固定負債	254,377	279,223	-24,846
設備資金借入金	202,271	226,215	-23,944
リース債務	924	1,941	-1,017
退職給付引当金	51,183	51,067	116
負債の部合計	432,351	452,664	-20,314
純 資 産 の 部			
基本金	253,381	253,381	0
1号基本金	253,381	253,381	0
国庫補助金等特別積立金	313,657	328,560	-14,903
その他の積立金	358,442	316,139	42,304
修繕費積立金	51,014	47,568	3,446
備品等購入積立金	22,025	19,035	2,990
施設整備積立金	284,003	248,136	35,867
設備整備等積立金	100	100	0
工賃変動積立金	1,300	1,300	0
次期繰越活動増減差額	716,372	669,849	46,523
(うち当期活動増減差額)	88,827	89,626	-799
純資産の部合計	1,641,853	1,567,929	73,924
負債及び純資産の部合計	2,074,204	2,020,593	53,610

## 法人単位 資金収支計算書

自 令和5年4月1日 至 令和6年3月31日

第一号第一様式

(単位:千円)

勘 定 科 目	予 算 (A)	決 算 (B)	差 異 (A)-(B)	備 考
	収入	64,913	64,598	
児童福祉事業収入	11,087	10,351	736	
就労支援事業収入	1,220,590	1,220,282	308	
障害福祉サービス等事業収入	1,483	1,369	114	
経常経費寄附金収入	5	7	-2	
受取利息配当金収入	25,034	28,182	-3,148	
その他の収入	1,323,112	1,324,789	-1,677	
事業活動収入計(1)	964,904	968,315	-3,411	
支出	95,271	95,616	-345	
人件費支出	124,098	124,795	-697	
事業費支出	10,567	10,574	-7	
事務費支出	1,103	1,095	8	
就労支援事業支出	4,760	5,283	-523	
支払利息支出	1,200,703	1,205,677	-4,974	
その他の支出	122,409	119,112	3,297	
事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	1,532	1,532	0	
施設整備等補助金収入	1,532	1,532	0	
施設整備等収入計(4)	23,944	23,944	0	
設備資金借入金元金償還支出	31,886	26,147	5,739	
固定資産取得支出	1,023	1,017	6	
ファイナンス・リース債務の返済支出	56,853	51,108	5,745	
施設整備等支出計(5)	-55,321	-49,576	-5,745	
施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)	2,546	4,911	-2,365	
積立資産取崩収入	2,546	4,911	-2,365	
その他の活動収入計(7)	47,345	47,331	14	
積立資産支出	0	20	-20	
その他の活動による支出	47,345	47,351	-6	
その他の活動支出計(8)	-44,799	-42,439	-2,359	
その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)	0	0	0	
予備費支出(10)	22,289	27,097	-4,808	
当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)-(10)	531,744	531,744	0	
前期末支払資金残高(12)	554,034	558,841	-4,808	
当期末支払資金残高(11)+(12)				

## 法人単位 事業活動計算書

自 令和5年4月1日 至 令和6年3月31日

第二号第一様式

(単位:千円)

勘 定 科 目	当年度決算(A)	前年度決算(B)	増 減
	収入	78,690	78,690
児童福祉事業収益	10,351	9,443	908
就労支援事業収益	1,220,282	1,224,942	-4,660
障害福祉サービス等事業収益	1,369	1,439	-70
経常経費寄附金収益	5,870	13,035	-7,165
その他の収益	1,302,470	1,327,549	-25,079
サービス活動収益計(1)	965,199	976,083	-10,884
人件費	96,862	103,313	-6,451
事業費	124,795	119,767	5,028
事務費	10,574	9,570	1,004
就労支援事業費用	54,921	59,395	-4,474
減価償却費	-16,435	-16,684	249
国庫補助金等特別積立金取崩額	25	422	-397
徴収不能引当金繰入	3,698	3,153	545
その他の費用	1,239,640	1,255,019	-15,380
サービス活動費用計(2)	62,830	72,530	-9,699
サービス活動増減差額(3)=(1)-(2)	7	8	-2
受取利息配当金収益	27,224	18,520	8,704
その他のサービス活動外収益	27,230	18,528	8,702
サービス活動外収益計(4)	1,234	1,451	-139
支払利息	1,585	1,451	134
その他のサービス活動外費用	2,680	2,685	-5
サービス活動外費用計(5)	24,551	15,843	8,707
サービス活動外増減差額(6)=(4)-(5)	87,381	88,373	-992
経常増減差額(7)=(3)+(6)	1,532	1,000	532
施設整備等補助金収益	572	0	572
固定資産受贈額	0	250	-250
固定資産売却益	1,021	1,003	18
その他の特別収益	3,125	2,253	872
特別収益計(8)	147	0	147
固定資産売却損・処分損	1,532	1,000	532
国庫補助金等特別積立金積立額	1,679	1,000	679
特別費用計(9)	1,446	1,253	193
特別増減差額(10)=(8)-(9)	88,827	89,626	-799
当期活動増減差額(11)=(7)+(10)	669,849	642,527	27,322
前期繰越活動増減差額(12)	758,676	732,153	26,523
当期末繰越活動増減差額(13)=(11)+(12)	0	0	0
基本金取崩額(14)	0	0	0
その他の積立金取崩額(15)	42,304	62,304	-20,000
その他の積立金積立額(16)	716,372	669,849	46,523
次期繰越活動増減差額(17)=(13)+(14)+(15)-(16)			

サポートセンター かなで

### 誕生日会

かなでのレクリエーションで誕生日会をしました。主役となる利用者さんは、帽子やタスキをかけて、とても嬉しそうな様子。コーヒータムには、みんなでホールに集まり、ケーキを食べました。これからも誕生日にはみんなで祝っていきたいと思います。

肥田 篤司



さくら

### 創樹祭

久しぶりに開催された創樹祭は、今までとは違い、縮小版。参加が制限された形でしたが、多くの人で賑わい、さくらの屋台のフランクフルトと駄菓子はすぐに売れました。来場してくれた人たちが笑顔で楽しんでいる様子は、心が温まりました。来年も笑顔があふれる創樹祭にしましょう!

板倉 輝幸



### お花見

今年度よりさくらに加わった「工房まち」のメンバーと2名の新卒生を合わせた全59名で、笠岡市にある「かさおか太陽の広場」へ行きました。当日は、桜も満開。2つのレクリエーションを利用者さんとスタッフがともに楽しみました。昼食にはお花見弁当を堪能し、笑顔溢れる外出となりました。

古川 陽介



さわらび

### 日課活動

さわらびでは、利用される皆さんの興味があることや好きなことに加え、体力づくりなどの様々なニーズに合わせて楽しくすごせるよう、日課を計画しています。この春も、様々な日中活動を実施。絵画や工作といった創作活動、ボウリングやボッチャなどの室内レクリエーション、晴れた日には散歩やドライブ、中庭でのボール遊びやシャボン玉などを楽しみました。

山口 慎平



ONE-すてっぷ

### どろんこ遊び

ここ最近のすてっぷでは、砂場遊びとどろんこ遊びが本格化してきました。ジョウロ・バケツ・お茶碗・ペットボトルなどを使い、砂山に埋めた筒に水を運んでたっぷり溜めた後、地面を掘っていくとドカン!と水が大放出! 子ども達も大喜びの瞬間です。汚れたり濡れたりするのが苦手で砂場には入れない子どもも、砂のプリンを配達してくれたり、自分で引いた線の溝に水が流れる様子を見つめたりと、それぞれのやり方で遊びを楽しんでいました。

山野上 朋海



福山六方学園

### 創樹祭

4月29日、創樹祭が開催されました。たこ焼きやアイスクリームなどたくさんの屋台が出ているなか、子ども達は「何食べようかなあ〜」と悩みながら食べたい物を買って、みんなで一緒に食べました。よほど美味しかったのか、みんな一瞬で完食。魚釣りやボール投げなどのゲームもあって、子ども達は大喜びです。子ども達の笑顔を見ることができ、職員にとっても素敵な思い出になりました。

佐々木 かれん



### 連休外出

5月3日、井原市の馬引公園に全員で出かけました。いつもとは違う広々とした公園に子ども達のテンションが上がり、公園について早々走り出す子も。鬼ごっこに野球、ブランコと元気よく遊び、たくさん汗をかいている姿はとても輝いていました。昼食のお弁当も美味しく食べて、食べ終わったかと思うとすぐにグラウンドの方へ走っていく子供たち。楽しい時間が過ぎた帰りの車内で、遊び疲れウトウトしているみんなを見て、「やっぱり可愛いなあ」と思いながら、無事に連休外出を終えることができました。

小川 泰世

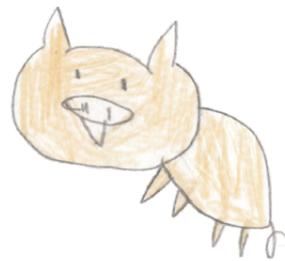


あゆみ苑成人寮

### 研修会

6月4日、社会福祉法人 北摂杉の子会 萩の杜より勝部真一郎氏と池田裕哉氏をお迎えし、自閉症の障害特性に応じた支援と、萩の杜支援事例についての研修が開催されました。強みを活かして苦手なことを補う視点、職員の成功体験の大切さなど、沢山のお話をいただきました。利用者さん一人ひとりの人生にしっかりと向き合い、今の支援がより良いものになるよう、目の前の課題を一つずつ乗り越えていきたいと思えます。

小林 武史



ふぁんたす

### 福山城博物館

3月26日、福山城博物館へ見学＆散策に出かけました。2022年に行われた大規模な改修工事により、内装も展示も近代的にリニューアル。模型の馬にまたがり武将の気分を味わえる「一番槍レース」、火縄銃体験やクイズなどの企画もあり、子どもも大人も楽しみました。また、子どもたちは天守閣から福山の街並みを見下ろし、「あそこに〇〇が見えるよ!」と大興奮。広場に降りた後は、みんなで記念撮影や散策をするなど有意義なひとときでした!

池田 勇太



### てんぐりかっぱ

ふぁんたすの春休み恒例行事として、冒険遊び場「てんぐりかっぱ」へ今年も行ってきました。今回はコロナ禍の制限がなくなって初めての春外出ということで、各曜日グループともに昼食も兼ねた少し長めの外出。特に、中高校生が多いグループでは現地で野外炊事も行い、青空のもと、みんなでカレーライスを作って食べました。木々に囲まれた自然豊かな場所での食事はいつも以上においしく感じ、その後の遊びも最高に盛り上がりました!

田中 順子



学園の日々



日々